



らく
楽

しょう
笑

こう
幸

れい しゃ
齢者

になろう！

“地域包括支援センター”ってどんなところ??

大槌町地域包括支援センターは、高齢者の皆さんが住み慣れた地域でいつまでも安心して生活できるよう様々な相談をお受けし、支援を行っています。

高齢者の総合相談窓口です！
お気軽にご相談ください。
チームで支援します。



こんな時は ご相談ください！

自立した生活を支援します！

ひとりひとりの状態に合わせた介護予防をお手伝いします。

- ・介護保険のサービスを利用したい
- ・最近、足腰が弱くなってきたので効果的な体操を教えて欲しい
- ・元気に暮らしを続けたい

「困ったな・・・」 を一緒に考えます

来所、電話、訪問相談に応じます。

- ・認知症の母親の介護に困っている
- ・地域の集まりについて教えて欲しい
- ・離れて住む一人暮らしの親のことが心配
- ・どこに相談したらいいかわからない悩みがある

地域の暮らしを支えます！

地域のネットワークづくりに務めています

高齢者の皆さんが暮らしやすい地域づくりのために、医療機関や行政、その他の関係機関と連携した体制づくりを進めています。

みなさんの権利を守ります！

安心して暮らすために高齢者の様々な権利を守ります。

- ・お金の管理に不安がある
- ・悪徳商法に引っかかりそうになった
- ・近所から怒鳴り声や物を投げるような音が聞こえて心配...

ご相談はどなたでも！

高齢者本人からだけでなく、家族やご近所の人からも、高齢者に関する相談を受け付けます。「どこに相談すればよいか分からない」といった場合も、まずはご相談ください。

【お問い合わせ先】大槌町地域包括支援センター TEL 0193-42-8716

ひよっこりカフェのご案内

認知症等に関する相談対応、認知症予防等に取り組んでいます。認知症の人やご家族、認知症について学びたい人等、お気軽にご参加ください。

■日時 4月17日(水) 13:00～15:00 ■会場 つくし薬局本店 まちかどふれあい室

- 内容
1. 講話(植田医院 院長 植田 俊郎医師)
 2. 折り紙でのリースづくり等の活動

問 つくし薬局本店 TEL 0193-42-8500

一貫教育だより



城山の風

大槌のすべての子に
豊かな「育ち」と
確かな「学び」を

次代へつなぐ学び

「大槌町子供の学び基本条例」を制定

変わりゆく社会にあっても、大切に引き継いでいく教育の理念や方針を定めた「大槌町子供の学び基本条例」を3月議会で制定しました。

【条例化の理由】

- 議会の議決を経た条例にすることにより、町民のみなさんの理解や協力を求めることができる。
- 教育の理念の風化を防止し継続性を図る。
- 0歳から18歳までの学びの継続性を町として責任を負うことを明確にする。

条例は前文と9の条文から構成され、平成31年4月1日から施行することとしています。このような条例は、県内初めてであり全国的に見てもあまり例がありません。

特にも「防災教育(学習)」を学校教育でしっかりと行うこととした事は画期的なことで全国から注目を集めています。この条例は、震災復興を担う人材の育成、さらにその

先に続くふるさとを創り守り継いでいく「大槌人」を町民総がかりで育てようとするものです。

その思いを、条例の前文に掲げました。

「我々大槌町民は、幾多の災害や困難に屈することなく、たゆまぬ努力によって築いてきた豊かな自然と歴史ある町を継承し、さらに成熟させていくとともに、日本国と国際社会の発展に貢献することを願うものである。

我々は、この理想を実現するため、個人の志を尊び当事者意識を持って課題に臨み、共感と協働によって解決を図る態度を併せ持つ、豊かな人間性と創造性を備えた人材の育成を期するとともに、郷土固有の伝統と災禍による教訓を継承し、新しい文化の創造を目指す教育を推進する。

ここに我々は、教育基本法及び大槌町民憲章にのっとり、大槌町の未来を切り拓く子供の教育の教育を確立し、その振興を図るため、この条例を制定する。」

この理念が、30年後、50年後も瑞々しく息づき、学校、家庭、地域、行政が一体となった育ちと学びが進められることを願うものです。



進化する「ふるさと科」

サッポロホールディングスよりタブレット贈呈

3月1日(金)に、大槌学園において「サッポロホールディングス株式会社」から2018年恵比寿麦酒祭りビール売上金を活用した寄付金の贈呈式が行われました。

贈呈式には、サッポロホールディングス(株)から取締役の野瀬浩之さんの他、嵯峨山真さん、佐藤守さんが学園を訪れました。

野瀬取締役から平野町長に目録を、寄付金で新調したタブレットを大槌学園8年生の岩崎泰誓さんに手渡しました。タブレットには、町の歴史や文化、産業などを学ぶ「ふるさと科」のアプリが内蔵されており、震災前の町の様子や復興の足跡も知ることができます。

また、自分で調べた資料や撮影した写真を保存したり

蓄積したりすることができ、自分だけのふるさと科を作り上げることができます。

岩崎さんは「ふるさと科で、町の写真を撮ったり、資料を見たりして使いたい」と感謝の言葉を述べました。

同社の大槌町への寄付は、平成27年からはじまり、これまでに吉里吉里学園のワカメ学習、大槌学園の新巻鮭作りに活用されてきました。また、コラボ・スクール「大槌臨学舎」への支援も11年から続いています。



平成31年度在籍児童生徒数

(3.15現在)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	合計
大槌学園	81	60	80	62	70	71	75	65	67	631
吉里吉里学園	9	7	11	10	10	15	9	14	14	99
大槌高校	42	54	63							159



新学期、子どもたちの安全な通学への声かけ、目配り気配りをお願いします。